

富山市 総曲輪レガートスクエア 来月26日 完工式典

富山市が旧総曲輪小学校跡地で建設を進めてきた「総曲輪レガートスクエア」の合同完工式典は、3月26日に行われる。同日は記念フォーラムも開かれる。森雅志市長が1日の定例会見で発表した。

レガートはイタリア語で「結び」という意味。約1万平方メートルの敷地に、地域包括ケア拠点施設「市まちなか総合ケアセンター」のほか、看護専門学校や理学療法士を養成する専門学校、フィットネスクラブ、調剤薬局など、官民の施設を一体的に整備している。オープンは4月1日で、ケアセンターの産後ケア応援室と病児保育室については、利用者の事前登録が既に始まっている。

式典は午後1時から、旧総曲輪小体育館で行い、終了後には市民向けの内覧会を実施する。記念フォーラムは富山国際会議場に会場を移し、日



旧総曲輪小学校跡地で整備が進められている「総曲輪レガートスクエア」。3月26日に完工式典が行われる

して講演する。「『選ばれた地域』とやまを指して」をテーマに、パネルディスカッションも繰り広げる。

市長は「子育て世代や高齢者をサポートする体制が整う。専門学校に多くの若者が集まり、まちなかの活性化につながることも期待したい」と語った。